

ティーンズ 2024年

今回の集いは特にクリスチャンじゃない友達との参加ということで少し心配だったけど、友達もすごく楽しんでいて本当に神様の恵みって素晴らしいなと改めて感じました。賛美やメッセージ全てにおいて本当に学ぶことが多く、わたしの心に語りかけてくれたと思います。また次の集いも楽しみにしています！

川副 満名、ドイツ



今回、人前で祈るのは変なことではないと知りました。普段の生活では、祈るのはいつもちょっと恥ずかしいと感じていました。誰も祈らないからです。今回、そうではないと気づかされました。これからは祈りたいときに祈りたいと思います。

西川 遙香、オランダ





集いがとても気に入りました。集いはいつも私よりもっと考えるのを助けてくれます。私と私の信仰について。今回は私たちのアイデンティティについても少し話しましたが、それは私が自分の信仰についてどう感じているかについて考えるのにも役立ちました。

とても気に入ったのでまたやりたいと思います。

Chiara Graziadio、ドイツ



私自身、集いはいつも楽しみにしているのですが、年に1回しかないのは残念ですが、だからこそ期待感があるのだと思います。今年のはとても刺激的な話になったと思いますし、少人数で内密に意見交換できたのでとても楽しかったです。こうやってみんなで集まって歌うと鳥肌が立ちます。毎回集いの最後の夜に証会があるので、みんなの前で話すのは好きではありませんが、他の人の話や考えを知ることができてとてもよかったです。でも、去年の運動会はもっとスポーティだったので良かったと思いますが、夕方に十代の若者たちとゲームの『人狼』をしたのは最高だったと言わざるを得ません。私はそれが大好きです。

増谷愛、ドイツ

二年前、集いのTeensに入ってから神様との信仰が深くなったと思います。日常生活の中で神様の事を忘れてしまったり、積極的に祈りしなくなってしまう。ですが毎回集いやユティカに来るたびに悔い改めて、神様との関係などを考えさせられます。最近は将来の事をたくさん考えるようになりました。たくみ先生が将来は自分が思った通りに行かない、と言われて本当に人生何が起こるか分からないし、神様に正直に将来の悩みを相談しようと思いました。今回identityについて聞く前は、自分には価値がなくて、あれができないとか考えることがありました。でも、あなたは高価で尊い、あなたは神様の子だからそれで価値がある、という言葉に励まされました。

根本 百合野、ドイツ



今年のつどいは本当に楽しかったです。友達と知らない人とルームシェアしていたんですが、だんだん仲良くなっていきました。朝、昼、夜、いつも日本らしくないおいしい食べ物がありました。私は十代の若者たちと一緒にだったので、説教を聞いて、その後小さなグループで話し合うことができ、誰もが参加して自分のアイデンティティを探求できたように感じました。私の意見では、最高の瞬間は、10代の若者たちと人狼をプレイできたときです。ラウンドはいつも夜遅くまで続きましたが、とても面白かったのでずっとプレイし続けました。面白い瞬間がたくさん生まれました。来年も、つどいに参加して、新しい友達を見つけ、神様との親密さを高めていきたいと思っています。

リンダーマントーマス・あき、ドイツ



集いでは、私と同じ信念を持つ同年代の多くの人々に出会うことができました。そのおかげで雰囲気はとてもリラックスでき、自分たちの信仰だけでなく、興味のある他の話題についても率直に話すことができました。集いではまた、他の国から来たクリスチャンと知り合い、友達を作る機会も提供してくれました。またぜひ参加したいと思います!!

Naemi、ドイツ



今回の集いでのティーンズのテーマ:「キリストにあるアイデンティティ」では自分のアイデンティティを改めて考えて、自分は誰なのか、なぜ価値があるのか、を考えることができました。また質問タイムでは個人的な質問や先生たちに質問が聞けて面白かったし、聞きたかった質問が聞けてスッキリしました。今回は石堂先生を通してイスラエルについて知ることができました。自分は今回、特に私たちは皆神の子供で愛されているから価値があるということを忘れてはいけないなど改めて思い出しました。みんなとまた再会でき、運動会や証の時間など楽しいひと時を過ごせたことを感謝します。

呉佳恵、日本



集いでの私の経験は広範でした。第一に、私は常にクリスチャンが団結することが非常に重要であると感じています。それは、私の名のもとに一人や二人が集まれば、私も彼らの真ん中にいることを意味します。また、たくさんの素敵な人々と再会することができ、私たちクリスチャンにとっても社会的にとっても助けになりました。写真がそれを非常によく示しているので、楽しかったことが一目でわかると思います。

Kenzo Graziadio、ドイツ



キリスト者の集い＝信仰継承の場

今年の集いもたくさんの祝福があり、感謝でした。

ここ数年私はティーンプログラムの実行委員を務めていて本大会には出席せず13歳から19歳までのティーンエイジャーたちと時間を過ごしています。

毎年きてくれる子たちが多くてみんな友人たちとの再会を楽しみに集いに来てくれています。すでに親しい雰囲気があるので新しくくる子たちもすぐにその輪になじめて10代クリスチャンのよい信仰の輪ができているなと感じています。

ティーンのほとんどがクリスチャンホーム育ちで、子供の信仰が大人の信仰へと変わる途中の大切な時期です。そういう場に携われること自体が大変大きな恵みです。また集いという信仰継承の場の大切さを改めて強く感じました。

ヨーロッパの日本語教会の30年後の姿について考えたとき、私や私より下の世代が教会を担っていくことになると思います。今のように日本語教会という形ではないかもしれませんが確実に信仰が継承され新しいクリスチャンの世代が誕生していることを感じます。

渡邊航、ドイツ